

# しじょうなわて

## 【特集】高床式農床システムと砂栽培で 四條畷から農業の未来を変革する!



特集 Special feature



松崎純子さん(左)と岡本治さん

「未来型高床式農床システム」という設備で「砂栽培」での野菜作りをすすめる株式会社グリーンファーム。四條畷市で『日本農業の変革』と『農福連携』の実現に取り組んでいます。今回は社長の松崎純子さん、運営委員会委員長の岡本治さんに、砂栽培農園の特徴や今後の展望などについて話を聞きました。

**高付加価値と安心・安全を両立させて「大阪産」認定**

株式会社グリーンファームでは、耕地の代わりに独自に開発した高床式農床システムと、土の代わりに砂を使い、窒素やリン酸、カリウムなどが入った液肥を注いで野菜を育てる砂栽培を組み合わせた新しい農業を行っています。栽培するのは主にチンゲンサイや小松菜といった鮮度が勝負の葉物野菜が中心。営農指導や経営指導も担当する岡本さ



GF私の太陽農園(農福連携)

## 高床式農床システムと砂栽培で 四條畷から農業の未来を変革する!

んに聞きました。  
「この農業システムは灌水装置が自動的に働き、土地を耕す労力が不要なうえ、人手が必要なのは種蒔きや苗の植え付けと収穫の時だけ。また年10回ほどの収穫が可能で、農家の収益が向上します。さらに土地の影響を受けないので、安心・安全な野菜を消費者の皆さんに確実にお届けできる画期的な農業システムです。私たちは自社農場で作農しながら、普及促進や導入農家への営農指導も行っています」

また、平成26年4月にグリーンファームで栽培した野菜が『大阪産(もん)』の認定を受けています、と松崎社長。  
「四條畷市給食センターにも出荷し、小学生や中学生の皆さんにグリーンファームの野菜を食べていただくことで『地産地消』を実現しています」  
四條畷の地から日本の農業を変える!



岡本さんによると、高床式農床システムを用いた砂栽培は、従来の農業に比べて農作業の負担を少なくできるため、高齢者や障がい者でも働けると関心を寄せられています。  
「農地の高さを調整でき、長時間の作業が少なく済むため、高齢者や障がい者の雇用の場になるのではないかと考えました。グリーンファームでは軽度身障者の方々に働く場を提供し、農業と福祉が連携する『農福連携』を実現するべく取り組んでいます」



大阪産(もん)とは、大阪府で栽培・生産される農産物、畜産物、林産物、大阪湾で採取され大阪府内の港に水揚げされる魚介類、大阪の特産と認められる加工食品です。

「これまでも四條畷市役所や市内の農家の皆さんに応援していただけてきました。今後も四條畷で生まれた新しい農業システムを日本中に広げ、全国に安心・安全な野菜をお届けできるように頑張ります」  
四條畷発の新しい農業システム、これからも目が離せません。



株式会社グリーンファーム  
四條畷市大字逢阪479番4  
☎072(863)2121

